



ハロ -

Hello 峰山

(峰山市民局：0772-69-0711)

令和6年1月10日発行



市HP内掲載記事へ

峰山町の人口

単位：人

	R5.11 末	前月比	R5.10 末
0歳～14 歳	1,360	2	1,358
15歳～ 64歳	6,378	-3	6,381
65歳～	3,813	-11	3,824
合計	11,551	-12	11,563

新たな地域コミュニティづくり 発進！

(五箇地区・峰山東地区)

新コミュとは、「新たな地域コミュニティづくり」の略で、10年、20年後の未来を見据え、単独の区では解決できない現在の課題や魅力ある地域づくりを地区公民館単位等でまとまって行おうとする取り組みです。

人口が減少し、少子高齢化が進んでいく中、単独の区の機能が低下し、今まで行ってきた行事が行えなくなってきました。そのため、地域のつながりや交流の場が少なくなっていくとします。こうした課題を解決するために色々な地域で取り組みを進められています。

ある地域では、単独の区で出来ない子どもとの交流で社会福祉協議会や福祉委員と連携しそば打ち体験やスーパースクールなどができる「サロン祭り」を行い、広い世代同士のコミュニケーションが増えます。

違う地域では地域のつながりの強化のため、防災と福祉の面で区の役員が中心に防災活動をしていましたが、福祉委員や民生委員、社協と連携し要支援者の情報をマップで見える化するなどの取り組みや実際の避難を想定した訓練を行っています。

新コミュは、新たな事業づくりのきっかけの主体にもなります。空き家を活用した運営やふるさと納税の返礼品に出品し収益事業に取り組んだりしています。このような取り組みを行うことで、地域のつながりや広い世代間のコミュニケーションも増え、普段の暮らしや防災などに役に立ちます。

峰山町も新コミュに向けて動きだしています。例えば「五箇地区」「峰山東地区」では、まず地域の現状を考え、今後のあるべき姿を新コミュ推進会議にて意見を交流しました。この会議では、広い世代が参加され、様々な意見が出ました。裏面ではその様子をご紹介します。



五箇地区

(二箇区・五箇区・久次区・鱒留区)

○魅力な点

水・米がおいしい、星が綺麗、自然、里山、広い土地、知らない人がいない、静かなところ、歴史がある、熱意ある人がいる、イベントが盛ん、天女の里、ゆっくり時間が流れている、四季が感じられる、歩いているだけで野菜がもらえる。

○課題点

若者が帰ってこない、子どもがいない、買い物弱者、鳥獣対策が必要、にぎやかな店がない、高齢者の暮らしに不安、農業など担い手不足、移住者が少ない、五箇地区全体のイベント参加が少ない、村役が多い。

○残すべきもの

久次産の蕎麦や天女の里の味噌、こんにやくなどの地元産品、祭りや地藏盆などの伝統行事、月の輪田、いさなご山

○新たに取り入れるもの

五箇地区民が憩える場、テーマパークサイクリングロード、川遊びエリア、子どもと高齢者との交流場所・交流行事、農業体験、コンビニ、飲食店特産品、古民家を活用した民泊施設地区での旅行、女性が活躍できる働き場所、子どもたちが考える行事、外国人との交流



峰山東地区

(15区・16区・17区・18区)

○課題点

子どもが少ない、区の役職が多い、年代を越えたつながりが少ない、アパートが多くなる区の行事に参加しない区民が増加している、能力を持つ人がいるのに積極的になれない、役をする人は断れないような人で、多くの役が重なっている

○新たに行うべきこと

人が集まる場所を作る(アート・カフェ)、区の行事で集約できるものは広域で行う、子育て世代が丹後の魅力を発信できるような仕組みを作ってみる、アートを通してのまちづくり、空き家を利用したシェアハウスまちづくりについて大学生とコラボ子どもの遊び場づくり、これからの地域づくりに子どもを中心とした街づくりを柱にする、区民の多くが集まれるようなイベントを開催して現状を知ってもらい危機感を持ってもらう、キッチンカーや大道芸人を呼ぶ、峰山球場は素晴らしい球場なので、野村克也さんも絡めて何か事業ができれば良い



今年も、峰山町の魅力や地域の活動などを発信していきますので、皆さまどうぞよろしくお願いします。

